

複雑化・高度化する電気通信業界では、「工事担当者」の力が必要です。

企業内の電話工事を監督するためには、AI第2種以上が必要です。

現在の資格

旧資格

資格の種類	知識			工事の範囲			
	IPネットワークの知識	セキュリティの知識	高速インターネットの知識	アナログデータ通信	ISDN	デジタルデータ通信	
						インターネット以外の接続	インターネット接続
AI第3種	×	○	×	○1回線以下	○1回線以下	×	×
AI第2種	×	○	×	○外線50回線以下 内線200回線以下	○外線50回線以下	×	×
AI第1種	×	○	×	○回線数無制限	○回線数無制限	×	×
DD第3種	○	○	○	×	×	×	○1000Mbps以下
DD第2種	○	○	○	×	×	○100Mbps以下	○1000Mbps以下
DD第1種	○	○	○	×	×	○速度無制限	○速度無制限
AI-DD総合種	○	○	○	○回線数無制限	○回線数無制限	○速度無制限	○速度無制限
アナログ第3種	×	×	×	○1回線以下	×	×	×
アナログ第2種	×	×	×	○外線50回線以下 内線200回線以下	×	×	×
アナログ第1種	×	×	×	○回線数無制限	×	×	×
デジタル第3種	×	×	×	○1回線以下	○1回線以下	△0.192Mbps以下	△0.192Mbps以下
デジタル第2種	×	×	×	○1回線以下	×	×	△0.192Mbps以下
デジタル第1種	×	×	×	○1回線以下	○回線数無制限	○速度無制限	○速度無制限
アナログ-デジタル総合種	×	×	×	○回線数無制限	○回線数無制限	○速度無制限	○速度無制限

Q 工事担当者は現場に必要？

A 工事現場にいないと法律で定められています。

Q 電気通信主任技術者との違いは？

A 電気通信主任技術者は、ネットワーク全体の設備工事、維持及び運用に関して監督を行うための資格です。これに対して工事担当者は、ネットワークの通信設備の工事現場で工事・監督を行うための資格です。

Q 旧資格で十分では？

A 複雑化・高度化する通信業界において、旧資格では力を十分発揮できません。

IP-VPNや広域イーサネットなどの宅内工事を監督するためには、DD第2種以上が必要です。

回線交換方式によるデジタル回線への接続工事に限られており、今後、新規の工事は原則、発生しません。

複雑化・高度化する通信業界では、新しい知識が求められています。

企業向け工事は2種以上!

企業向け工事は2種以上!